

信篤 (SHINTOKU)

市川市議会議員

松永おさみ

いちかわ

後援会だより 第33号

事務所 原木 1-22-16

電話・FA X 047-327-1470

www.matsunaga-o.net

9月議会

東西線の騒音対策と

幼児教育の充実策を！

九月市川市議会は、四日から二十四日迄の二十一日間にわたり開催されました。市長から提案された議案は、補正予算六案と、教育委員の任命を含めた十七案と諮問・報告五件で審議の結果は全て原案の通り決まりました。又決算認定二件については、決算特別委員会を設置、十月中旬に審査いたします。

千葉市長が引退表明

千葉光行市長は、記者会見を通して四選不出馬を表明されました。十一月二十九日に行われる市長選挙は、新人による、白熱した戦いが展開されるものと思われれます。

松永おさみ市議は、十五日に一般質問を行い、市の考え方や方針を質しましたので、その概要をお知らせいたします。

高谷中東側の小川の再生を！

質問 『原木西浜公園に通じる市道七一一〇号に沿った水路には、ザリガニや小魚が生息し、子供達の自然観察に利用されている。この貴重な自然環境を残す為小川の創生・再生を図ってほしい』

答弁 『子供達が水に親しめる小川を再生するには、水源の確保、施設整備の用地確保が不可欠である。原木西浜公園に健康遊具設置の計画が進んでおり、景観整備等の要望もある。ので総合的に検討してまいりたい』

私立幼稚園の就園児補助・教材費の増額を

質問 『①幼児教育振興審議会から出された答申に対する検討と課題をどうとらえているのか』

- ② 就園児補助金一人三万五千円を船橋市並の三万七千円に増額する考えは
- ③ 教材費一人千六百円を元の補助額にもとせないか
- ④ 預かり保育促進についての基本的な考え方は

答弁 『①公立幼稚園で就園率の低い園の見直しや統廃合の検討を引き続き行う。幼児教育センターは、保護者や幼稚園教諭からの相談に対応する計画策定に取り組んでいる』

② 保護者の経済負担を軽減する為、増額について検討する

③ 十九年度二、二五〇円であった教材費を今後段階的に増額する方向で検討したい

④ 本年度二十二園が実施しており、前年より六園増加した。預かり保育制度が定着してきたので、今後積極的に事業の拡充を支援していきたい』

※市長答弁 『公立、私立幼稚園問題は、大きな課題である。公立の費用が安い、私立への補助の問題等幼教審にかけさせていたのだが、今後本当に公立が必要なのかということが大きな課題となってくると思う。しっかりと方向性を出していくべき必要性があるという考えを持っている』

JR 一俣新町駅周辺の環境美化について

質問 『駅前広場の周辺案内看板は、古くて現状に合わないのので作り代えられないか、併せて劣化のひどい木製ベンチ五脚を取り換えて欲しい。又放置自転車対策、定期的な清掃の実施などJRと協議して環境浄化を図りたい』

答弁 『古い案内板とベンチの設置換えは、関係者と協議して対応する。自転車の誘導や整理にあたっては、街頭指導員を一名増員して対応し、放置をしないようマナー啓発の徹底を図る』

昨年度五十六・五億の黒字決算

市の二十年度決算の内容は、歳入・歳出差引額(形式収支)は七十億円余りで、二十一年度へ繰越すための財源約十三・六億円を控除した実質収支額は、五十六・五億円の黒字となりました。但し、市債等の借金合計額は一、〇七八億円(市民一人当たり二十三万四千円余)で手断を許さない状況にあり、引き続き財政改革の推進が求められていると思えます。

スポーツ施設の整備・拡充策は

質問 『来年の千葉国体を控え、北東部地域に武道館・プールを含めた総合体育館を建設して本市スポーツの殿堂として欲しい。考え方を伺う』
 答弁 『平成十九年に策定したスポーツ振興基本計画で市内を四つのゾーンに分け、夫々のゾーンごとに計画的に整備を行うこととした。武道館を持つ体育館では、駐車場等の附属施設を含めると約一万二千㎡の用地が必要になるが、プール周辺では八、六三〇㎡を取得した。現在地権者から売却の意向があるので、来年度購入を目指し調整するなどして、スポーツ施設の整備に努めていく』

原木公園の整備活用は

質問 『原木公園に隣接する国有地約六、五〇〇㎡の築山を、不足している運動施設として整備活用ができないか』
 答弁 『原木公園は近隣公園で、当該地は無償借地で市が設置管理を行っている。公園内の再整備については、契約上の都市公園としての用途廃止や変更など解決が必要な問題があるので関係者と引き続き協議、研究、検討をしていく』

東西線の騒音防止対策は

質問 『田尻五丁目地先のマンション「グランシティユーロレジデンス原木中山」の居住者は、入居当時から電車騒音に悩まされ困惑している。又、沿線住民の方達も同様に七十デシベル前後の騒音で、電話やテレビが視聴しにくい状況が続いている。市は国と都が出資している東京地下鉄(株)と国交省鉄道局に対して、現状改善を申し入れるなど解決に向け取り組んで欲しい』
 答弁 『東西線の一日の通過車両は、平日は五七〇本、休日は四三〇本である。東京メトロに環境対策について確認したところ、振動対策として車両の軽量化やロングレール化・防振まくら木の敷設等の対策を施しているが、江戸川の鉄橋は構造上対応できないとのこと。そこで、市は騒音調査を早期に実施してその結果を基に東京メトロに対して騒音低減について要望してまいりたい』

※土屋副市長答弁 『高いマンションで相当音が大きく、そこから反射音も出ている。トラス橋で経済設計になっているのでどういふ対策ができるか事例を調べ、その上で東京メトロにしっかりと要望していきたい』

信篤地区内の交通公害について

質問 『旧来の狭い農道が、大型自動車の通行により被害を生じ関連住宅は揺れがひどく軋んで歪みができるなどの影響が出ている場所が散見される。市はこれらの道路の路盤強化や水路整備をして、周辺住民の不安を解消して欲しい』
 答弁 『市街地調整区域内の道路で、農道の脇に土水路がついた狭い道路が大型車の通行で路面劣化による影響が出ている。そして沿線住宅の方より苦情が寄せられていることから、道路舗装補修工事について調査し対応していきたい』

外環道情報 一日八千台の通過車両

○八月八日暫定開通した国道二九八号(高谷〜京葉道路・市川インター間三KM)の交通量調査の結果は次の通りです
 八月二十六日の一日 二十四時間で 八〇七六台
 内大型車二五九八台 小型車五四七八台

○市議会の外環特別委員会が開かれ、松水おさみが行った主な質疑
 質問 『分断される現道対策は、地元の見解・要望として高齢者や病院通いの人、日常の買物等に支障が出るので住民の声を受け入れて欲しい』
 答弁 『橋断歩道橋から橋断歩道に変更する場合、公安委員会との協議が必要となるが、再協議することも検討させていただきます』
 質問 『田尻五丁目六番地先など単独利用が出来ない、狭隘で変形な土地は地元払い下げのべきと考えるが』
 答弁 『今後環境施設帯として、外環周辺の環境に配慮した整備を基本として行っていく予定である』

※以上の応答を受け、道路分断は地元の納得を得ること。残地は有効利用を考え、地元払い下げの事を強く訴えその実現を求めた。

お祭りの日程

二俣日枝神社	十月九日(金) 十日(土)
お神輿は	十日(土) 九時〜十一時
原木日枝神社	十月九日(金) 十日(土)
田尻日枝神社	十月十一日(日) 十二日(月・祝)
高谷大鷲神社	十一月十二日(木) 一の西二十四日(火) 二の西

